



赤堀琢也の

# モザンビーク通信



2010.08.06

## 目次

はじめに	1
モザンビークって どんな国？	1
任地 Xai-Xai はどん な所？	2
要請内容(業務)は？	2
今までの経過	2
今後について	2
あとがき	2

Vol. 1

みなさんはじめまして。平成20年度4次隊のPCインストラクターとしてアフリカ南部のモザンビークに派遣されています赤堀琢也と言います。2009年3月に赴任して1年4カ月経過しました。現在モザンビークは冬で、夏真っ盛りの日本とは正反対です。アフリカで寒いなんて!?って思われる方も多いのではないのでしょうか？このような任地の状況、活動状況、文化などの情報を、残りの任期8か月の間、鳥取県民の皆様にお送りしていこうと思います。



## はじめに

鳥取市内病院にて医療事務課、新情報管理課と6年間働き、自分にもっとできることがあるのではないかと、もっと広い世界を見てみたい、ということから思いから、青年海外協力隊(=JICA(Japan International Cooperation Agency))に応募し、約2ヶ月の語学・技術訓練(東京・福島県)を経て、2009年3月26日PCインストラクターとしてモザンビークにある初等教員養成校へ派遣されることになりました。

※海外協力隊と言うと皆さん井戸を掘るイメージがあると思いますが、実際には様々な職種があります。興味がある方は是非HPを見てみてください。



独立行政法人 国際協力機構

<http://www.jica.go.jp/>

## モザンビークってどんな国？

モザンビーク(モザンビーク共和国)は、日本から約13,000km離れたアフリカの南部、今回ワールドカップのあった南アフリカ共和国の北東に位置している日本の6倍の大きさの国です。



- ・人口：約2000万人
- ・公用語：ポルトガル語(現地語多数)
- ・通貨：メティカル(\$1=35Mt)※最低賃金1,500Mt
- ・宗教：カトリック、イスラム教、無宗教
- ・気候：熱帯性・亜熱帯性気候

1975年にポルトガルから独立、その後1977年から1992年

まで内戦が続きました。未だに国内には傷跡が多く見られますが、首都マプトはビルも多く立ち並び大きく発展しており、2010年第1四半期の経済成長率は9.4%と好調です。しかし地方に行くとカニツと呼ばれる葦科の枝で作られた家が目立ちます。国家予算の60%を他国の援助でまかなっており、未だ貧困層は多く存在し、貧富の差はかなり大きく開いていると言えます。

HIV/AIDSの蔓延も大きな問題の一つで、感染率は約17%(2007年)となっています。特に私がいるガザ州は27%と高い数字です。原因の一つには教育問題が挙げられます。特に農村部の貧しい地域では家族のために農場で働くために学校に通う事ができません。また教員の多くが無資格であるという実態もあります。

人々は陽気で音楽、ダンス好きです。中国の援助が多くは言っているせいか「China(シナ)」と呼ばれることも多いです。都市部では強盗、住居侵入等の犯罪被害が多発しており、早朝・夜に独りで歩くことは非常に危険です。



## 任地 Xai-Xai はどんな所？

任地は首都マプトから約3時間半のXai-Xai(シャイシャイ)という人口20万人のガザ州の州都です。が、州都の割には随分小さな町ですが、大都市に比べ比較的安全で、大きな市場もあり生活に困ることはありません。海側の町なので魚介類も入手できます。

赴任先の学校は初等教員養成校でInstituto de Formação de Professores (= IFP)といいます。2006年、日本の無償資金援助によって建設された学校で、生徒数は約450人、レギュラーコースと英語コースがあります。本来は2年制ですが、教員不足のため現在は1年生となっています。(※来年度から2年制に戻る予定。)生徒たちは卒業後小学校(1～7年生)の先生になります。

※中学校:8～10年生、 高校 :11～12年生

※IFP入学資格は11年生卒業



## 要請内容(業務)は？

教員・生徒へのパソコン指導とPC室の管理です。生徒たちのほとんどはPCを触ったことがありません。なので電源の入れ方などの基本操作からOffice系(Word、Excel、PowerPoint)を教えます。カリキュラムの都合で前期しか授業はありませんが、後期は教室を開放して希望者に個別に教えています。

教員のPC所有率は高く、基本的操作はできますがウイルス感染等に対しては知識も少なく対処方法を指導しています。カウンターパートであるJorge(数学も兼任)は知識も豊富で良いパートナーです。

### <年間予定>

- 1月～2月:受験希望者受付
- 2月～6月:前期
- 6月～7月中旬:休暇(約3週間)
- 7月中旬～12月:後期・卒業式
- 12月～1月:休暇(1か月)

授業時間は圧倒的に少なく、仕方がないことですがなかなか身につけません。少しでも楽しみながら学んでもらえるよう工夫が必要です。

## 今までの経過

### <2009年>

- 3月26日:モザンビーク到着
- 3月30日～4月30日:ホームステイ及び語学研修
- 5月7日～8日:関係省庁表敬訪問  
(外務省・教育省)※食当りのため参加できず
- 5月13日:Xai-Xai(シャイシャイ)赴任
- 7月14日～17日:隊員総会・PC分科会

- 9月14日～15日:健康診断
- 12月18日～29日:国内旅行

### <2010年>

- 2月5日:新学期スタート
- 6月23日～7月11日:任国外旅行(タンザニア)
- 7月19日～23日:隊員総会・PC分科会

## 今後について

後期が始まってすぐに隊員総会だったので、暫くバタバタとしましたが、これから腰を据えて残りの任期を全うしたいと思います。前述の通り後期は授業がないので、元々カリキュラムにPCの授業がない英語コースの生徒に対して授業を行いたいと計画中です。問題は教室に椅子

がないということ。どこから調達してくるかが課題です。つい最近まで隊員がいた中学校のPCの授業にも顔を出してみようかと思っています。またCasa de Culturaという文化センターがXai-Xaiにも出来ました。ギターが出来るのでなにか出来ることはないかと思っています。

## あとがき

日本では暑い毎日だと思いますが、こちら南半球は冬で10度前後と冷え込みます。ピークは7月から8月で朝晩の冷え込みはフリースを着込んで毛布をかぶることでしのいでいます。まさかアフリカでこんな寒いをするなんて思いもしませんでした。とは言えダウンジャケットを着込んでるモザン人を見ると、微笑ましく思ってしまう。

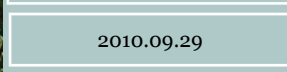
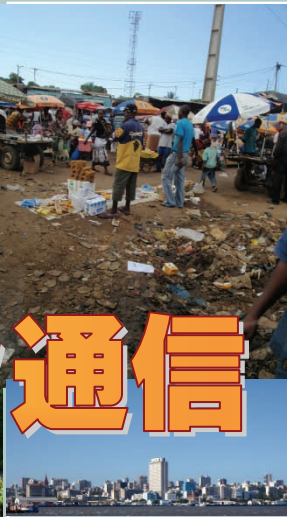
1年数カ月経ちようやく会話がまともにも出来るようになってきま

した。残りの任期を考えると若干焦りも感じますが、活動はこれからといった感じですね。生徒や同僚たちと楽しく笑って過ごしているときはそんな不安もなくなります。皆さんも、いつも心に笑顔を忘れないようにお過ごしください。

Blog : <http://nnsa.main.jp/takuya/>

E-mail : [tak02040419@gmail.com](mailto:tak02040419@gmail.com)





目次	
トピック	1
活動の様子	1
写真で見る配属先	2
モザンカルチャー	2
今後について	2
あとがき	2

2010.09.29

Vol. 2

皆さん、こんにちは。アフリカ、モザンビークにいる赤堀です。今年の日本は例年にないくらいの猛暑だったようですが、それも終わり秋の足音が少しずつ近づいているのではないのでしょうか。こちら、モザンビークはというと9月半ばより突然暑くなり、夏がやってきました。北部に比べたらまだマシな方ですが、乾いた空気の中、汗と砂にまみれて過ごすのはアフリカにいるということを改めて実感します。気がつけば残り半年と少ないですが、活動の様子とモザンビークの魅力をお伝えします。それでは第2号はじまります。※写真右は任地訪問時にシャバのタイヤがパンクした時です。首都からスペアを運ぶ為に炎天下の中2時間待ちでした。



### ◎トピック

2010年9月1日、首都Maputo（マプト）で暴動が発生しました。人々は暴徒となり商店を襲い、路上ではタイヤが焼かれ、警察が銃を空に向かって威嚇射撃をし、テレビで見る様子は正に混乱状態でした。死者は10名以上、逮捕者は200人以上と被害も少なくありません。原因はモザンビーク通貨であるメティカイス高ドル安によるガソリン、小麦をはじめとする各種物価上昇です。パンや米、シャバ（ミニバス）、電気・水道等あらゆるものの価格が30%も上昇してしまえばモザンビーク人の生活もままならないために起こったデモ・暴動だったのです。商店は締め切られ、シャバはストライキに入り街中は閑散とした様子だったようです。この暴動は約1週間続き、その間私たち隊員は自宅待機ということになりました。幸いここXai-Xai（シャイシャイ）では大し

た事件も起きませんでした。ストは各地へ飛び火しました。翌週、政府は補助を出して価格を据え置きにすることを発表しました。しかし近年の高い経済成長も衰えを見せ始めた今、予算の多くを援助でまかっている状態ではあまり見通しも良いとは思えません。いつ何が起るかわからない途上国、今後の動向には目が離せません。



### ◎活動の様子

ここ初等教員養成校での活動は生徒たちにパソコンの授業を行なうことです。しかし2学期（前期・後期）のうちパソコンの授業は前期だけです。一応カリキュラムも決まっていますので、少ない時間で多くの事を教えないといけません。町中で、学校内でパソコンを見る機会は非常に多いと思いますが、生徒たちの多くはほとんど触ったことがありません。まずは電源の入れ方から、そしてマウスの使い方、Windowsの使い方と教えてきました。この最初の第一歩が最も肝心です。病院移転前に旧病院でミニパソコン講座を看護師さんに行ったのを思い出しました。恐る恐るマウスを操作したり、右クリックと左クリックが分からなかったり。

赴任当初、パソコンは13台しかありませんでした。生徒は各クラス35人と2人～3人に1台です。授業時間は50分、説明約20～30分、実習は残り20～30分となると、ひとりが使える時間はわずかに10分足らず。正直、



なかなか覚えてもらえなくて当初はどうしたものかと頭を悩ました。基本的な使い方もままならないのに授業はどんどん進行し、アプリケーションを習うのに支障が出たりとしました。赴任時には既にExcelの授業を行っており、カウンターパートの補佐を行う感じで活動はスタートしました。

これをご覧の皆さんは以下の操作はできますか？

- ダブルクリック、フォルダーを開ける、ファイルの移動、ドラッグアンドドロップ、コピー、ペースト、切り取り

こういうのは、どんどん使って体で覚えていくしかないんですけど、授業時間内では難しい。というわけで午後の時間を解放して、自由に使わせてあげるようにしました。案の定、よく来る生徒はすぐに覚えます。特に男の子は早いです。文化的背景があるからなのか、女子生徒はあまり新しい事に挑戦しようという意欲は感じられません。男子生徒に頼ったり、先生にお願いするという状態です。前期のテストは3人一組で、Wordを使った簡単な文章を作成する、Excelでは簡単な表を作成するというものでした。甘い採点の為、成績はほぼ全員合格でした。（次回へ続く）



## ◎ 写真で見る配属先



中庭



テスト風景



調理場



教室



バレー大会



生徒

## ◎ モザンカルチャー

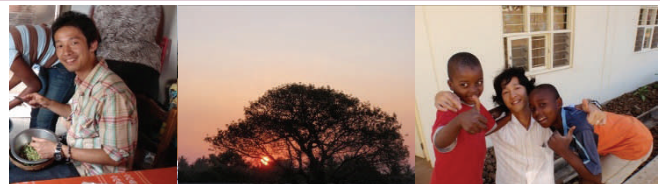
ここではモザンビークの文化を紹介します。今回は衣編。最も特徴的なのは女性の衣装。カブラナという様々な柄の入った布を腰に巻いています。頭には小さなサイズのカブラナ、レンソを巻いています。色とりどりの柄で、地方ごとに特色があります。このカブラナは単に巻くだけではなく、子供を抱くとき（写真左、一番前の女性）や、荷物を包んで運ぶ、寒いときには上半身に巻くなど使い方は様々。私も自宅ではテーブルクロス、カーテン、、パソコンカバーなどで使用しています。シャツやズボン、バッグのカブラナ製品も多数です。女性の歌のグループではカブラナの柄を揃えて、衣装としています。しかし首都Maputo（マプト）へ行くと、カブラナを巻いている女性は少なく、オシャレな洋服に身をつけています。田舎ならではの格好と言えるでしょう。殆どがタンザニアやジンバブエからの輸入です。

一方、子供達の衣は普通です。違う点と言えば、多くの子が、穴が開いて破れてボロボロの服を着ているということでしょう。裸足の子供も多いです。そして常に笑顔です。



## ◎ 今後の予定

- 10月4日～5日：健康診断
- 1月中旬：新入生受付準備
- 12月中旬：卒業式
- 2月上旬：新学期開始
- 12月後半：送別会
- 3月中旬：離任
- 2011年1月：旅行
- 3月後半：帰国



## ◎ あとがき

先日の暴動にはホント驚きました。しかし、デモはともかくとして、暴動で社会を変えることはできるのでしょうか？人の歴史は戦争の上に成り立っているかもしれないけど、歴史から学ぶことなく人は同じことを繰り返してしまうのでしょうか？テレビから流れる画像を見て寂しく思いました。

さて話は変わり、こうして予定を書くに残りもわずかなどしみじみ思ってしまう。JICA隊員は、仕事を辞めて来ている人、新卒、現職参加（休職）の3つに分けられます。残り半年と

なると、多くの人が帰国後の進路について不安を感じます。幸い私は現職参加なのですが、やはり同様です。専門職を必要としない職種なら尚更のこと。この経験を通して国際貢献の道に進む人、教員になる人、進路は様々ですがどの隊員にも共通して言えることは、どんな世界でも生きていけるような逞しさ・根性を身につけているということです。それでは次会をお楽しみに。

Blog : <http://nnsa.main.jp/takuya/>

E-mail : [tako2040419@gmail.com](mailto:tako2040419@gmail.com)